

中学生が日頃の思いを発表

平成29年度「少年の主張大会」

小野町青少年健全育成町民会議主催の「少年の主張大会」が7月7日、小野中学校体育館で開かれました。

この大会は、中学生が日頃考えていることや感じていることを発表することにより、社会の一員としての自覚を高めるとともに、青少年の健全育成に対する理解を深めることを目的に毎年開かれています。

今回は小野中学校の1年生から3年生までの計10人が、それぞれ自分の思いや願いを発表しました。

審査の結果、佐久間莉央さん(2年)が最優秀賞に選ばれました。佐久間さんは、難民キャンプの子どもたちを取り上げたニュースから「一方的に自分の意見を主張することにより、戦争という悲劇が起きてしまう。お互いを尊重することができれば、ぶつかり合うことはなくなるはず。私たちにできることは、このような問題に目をそらさず関心を持つこと、希望を忘れずに、平和を願い続けていきましょう」と発表しました。

審査の結果は次のとおりです。(敬称略)

なお最優秀賞と優秀賞の3人は少年の主張県大会に推薦されます。



発表者の皆さん

◆最優秀賞

『難民キャンプの子どもたち』

佐久間莉央(2年)

◆優秀賞(発表順)

『福島から発信する』

郡司遼太郎(3年)

『未知への挑戦』

藤井万佑子(1年)

◆努力賞(発表順)

『母の一言から』

大樂 未咲(2年)

『四字で広がる地域の「わ」』

大和田夏紀(1年)

『ソフトテニスとわたし』

長谷川杏樹(3年)

『言い方』

宮本 渚(2年)

『貧困の子どもたち』

佐藤 生美(1年)

『悪口から考える「自分らしさ」』

村上 佳奈(3年)

『フクシマの現在』

渡邊 柚稀(2年)

大きな決意と期待を胸に

第25回サマーキャンプ中学生の翼結団式

中学生海外派遣事業「サマーキャンプ中学生の翼」結団式が7月18日、勤労青少年ホームで行われました。

今回で25回目となるこの事業は、国際化が進む社会で活躍できる人材を育成する目的で、町内の中学生をアメリカへ派遣するものです。

結団式では、町長のあいさつの後、16人の団員が一人ずつ抱負を述べ、議長から激励のことばをいただきました。

団員は、8月1日から8日間の日程でアメリカ・ニュージャージー州グレンロック町でのホームステイ体験や交流活動などを行い帰国します。

なお団員の詳しい活動の様子は9月号でお知らせします。



団員と関係者の皆さん